

進む日本発世界戦略

トランネット

花輪莞爾「正気」アメリカ「WWB」で翻訳

欧米の編集者に日本の書籍を紹介するサイトとメー

ルマガジン「ジャパニーズ

・ライターズ・ハウス(J WH)」などを展開するト

ランネットはこのほど、同

人誌への作品発表を主と

し、一部で高い評価を受け

る作家・花輪莞爾の短編小

説「正気」が、アメリカの

オンラインマガジン「Wo

ds Without Borders (WWB)」

にあって高い壁となってい

るが、同社ではこれを足が

かりとしてアメリカ進出を

強化していく。また、海外へ

版權を売るためのプロモー

ション、海外出版社からコ

ンタクトがあった場合の仲

介業を行うことで対価を得

る契約を作家と交わす方針

を採っており、そうした要

望をもつ作家のサポート業

務を新たな事業として本格

的に確立させていく考え。

同社の近谷浩二氏は「日

本人作家の作品を海外へ伝

えたいと動き出してから3

年。人脈、ノウハウが整っ

てきた。来年には、作家が

自ら費用を負担し、自らの

意思で海外展開を行えるよ

うな事業も始めたい」と語

っている。

花輪莞爾氏(72)は、小

説家、翻訳家、國學院大学

名誉教授。二度の芥川賞候

補の経験もあり小説集も多

いが、同人誌「現代文学」

を主な舞台とするなど既存

の文壇とは一線を画した活

動を続ける。「ランボー全

集」などフランス文学を中

心とした翻訳・研究でも知

られる。最新刊は、101

の短編を収録した『悪夢百

一夜』(ウチヤマ出版刊、

4000円(写真)で、初

版1000部。

田口ランディ著『コンセ

ント』(イタリア、ロシア、

ルーマニア)、同『アンテ

ナ』(イタリア、ロシア)、

同『モザイク』(イタリア、

ロシア)、石黒謙吾著、秋

元良平写真『盲導犬クイー

ルの一生』(ポルトガル、

SINCO著『Fleec

e Dog』(英語、スウ

エーデン、フランス、フィ

ンランド)、池川明著『お

ぼえていよママのおなか

にいたときのこと』(イタ

リア)、松林光男、渡部弘

著『工場のしくみ』(ロシ

ア)、和田裕美著『こうし

て私は世界No2のセールス

ウーマンになった』(ロシ

ア)、竹内一正、ケニー・

タケタ著『松下電器10兆円

グループ戦略』(ロシア)、

石川昭、仲勇著『ナレッジ

マネジメントとリスク戦

略』(英語)、石川昭、田

中浩二著『京都モデル』(英

語)、『日本の中の世界一

企業』(英語)。

悪夢 百一夜

花輪莞爾

